



さよなら、狩俣事務長...

月日が過ぎゆくのは早いもので、いよいよ今月は今年度最後の月になってしまいました。

来月からは新しい年度が始まり、学校・クラス・職場で環境やメンバーが変わったりするかた方、または、新しい環境に飛び込む方も多いかと思います。実は私もその一人です。

次の4月から名護青少年の家は事務長が替わります。若干毛深かった私、狩俣から、あっさり外見の高事務長へ交替となります。

2年間という短い期間でしたが、豊かな自然と子ども達の歓声に囲まれた環境にいた事はとても新鮮で貴重なものでした。それまであまり考える機会が無かった、将来の子育て等について考えるいい機会にもなりました。

この貴重な経験を大事にしていきたいと思います。2年間本当にありがとうございました。

そしてこれからも名護青少年の家をよろしくお願い致します。

名護青少年の家 狩俣 孝浩

今月の名護岳 『アオバナハイノキ』 ハイノキ科



名護青少年の家キャンプ場にて撮影

山地に生える常緑の亜高木。幹は直立し高さ4~8mくらいになる。樹皮は黒紫色で枝先に径1cmくらいの淡紫色の美しく小さな花をたくさん咲かせる。名護青少年の家の敷地内や名護岳ハイキングコースでも2月から3月の花を咲かせる時期には、この木の下に紫色の小さな花がたくさん落ち、それがとても美しいです。

参考: 沖縄植物野外活動図鑑第6巻山地の植物

事業報告

冬の星空観察会

名護青少年の家では2月6日から7日の1泊2日で自主事業『冬の星空観察会』を開催いたしました。

この事業は、日本宇宙少年団名護分団でリーダーを務める米原氏を講師に迎え、名護青少年の家にあるカセグレン式の望遠鏡を使用した明け方の「木星」観察が一番の見どころです。その他にも手作りドームのプラネタリウム観賞や「星の万華鏡」づくり等、親子で「星」を楽しみながら学べるイベントとなりました。

1日目の夕飯は家族で野外炊飯に挑戦しました。メニューはダッチオーブンを使用したアウトドア料理の

定番「ローストチキン」です。その後は、手作りドームのプラネタリウムを観賞しながら、冬の星空や天体について、楽しみながら勉強しました。

2日目はいよいよ「木星」の観測です。早朝5時半から望遠鏡を覗きこみ、木星が見えた時には大人も子供も大はしゃぎでした。

朝ごはんを食べた後は星の万華鏡づくりです。筒を覗き込んだり、携帯で写真を撮影したりしながら、思い思いの装飾を施し万華鏡づくりを楽しんでいました。万華鏡を作った後も、タイミング良く「水星」を観測



早朝の木星観測!! 探せるかな?



水星も見ることができました

することができました。

参加者からは「木星も見ることができたし、プラネタリウムのような体験もできてとても楽しかった」や「星について楽しく学ぶことができた」との感想をいただきました。

〜担当からのコメント〜

冬の一等星巡りは時折雨が降り、手作りプラネタリウムでの星空を楽しみました。そんな天候の中、明け方には幸運にも「40cm屈折望遠鏡での木星観察」等ができました。野外炊飯や星の万華鏡づくりも好評で良かったです。参加の皆さん、寒い中ありがとうございました。

担当 坂下



家族で野外炊飯に挑戦!



ゆったりプラネタリウム観賞



大人も子供も夢中で万華鏡